

## 単語を追加する方法（ICレコーダーを使って）

用意するもの

ICレコーダー（PCM録音可能なものがお勧めですがMP3録音でも可。）

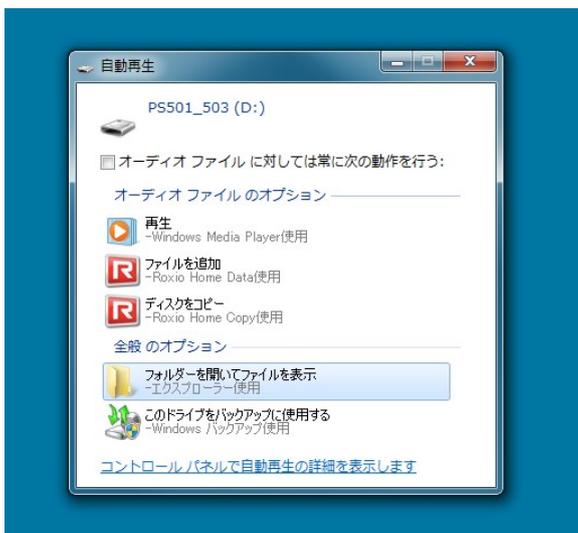
1. まず「こんにちは」と声を吹き込みます



2. パソコンにつなぎます。



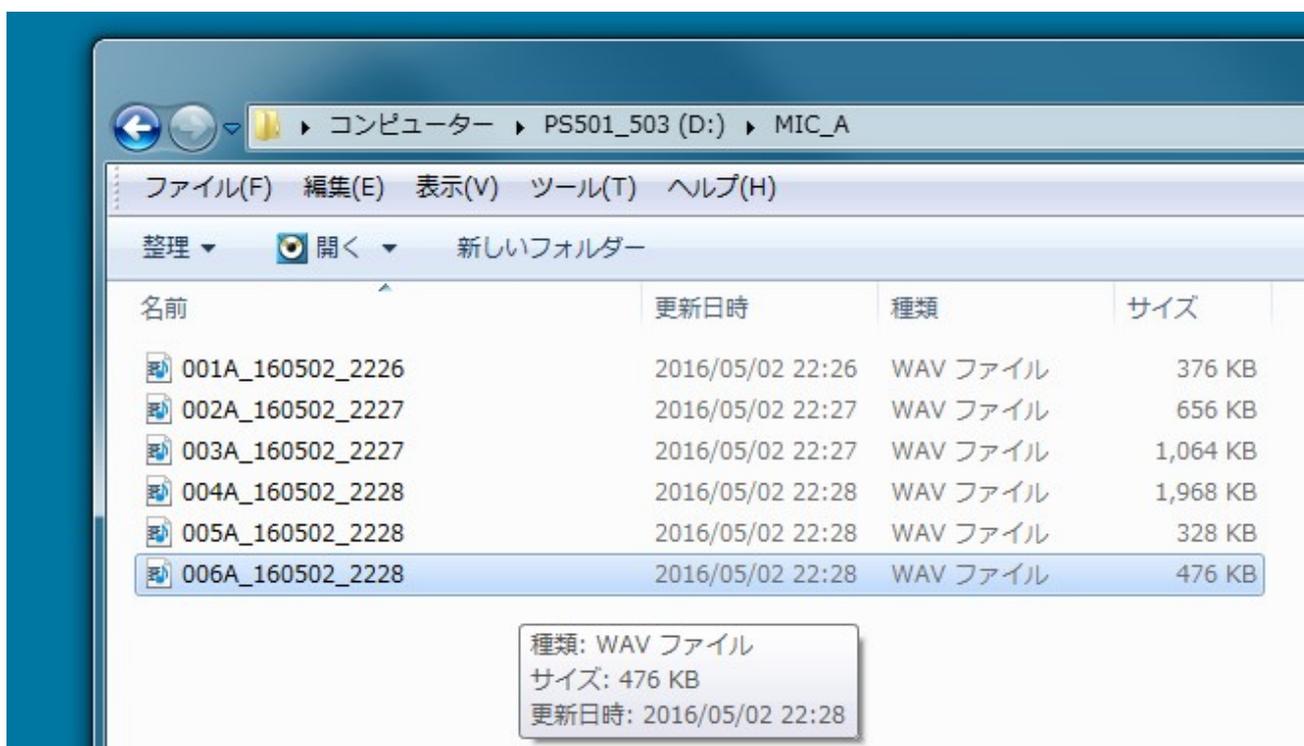
3. ICレコーダーの中身が、こんな感じで画面に表示されます。



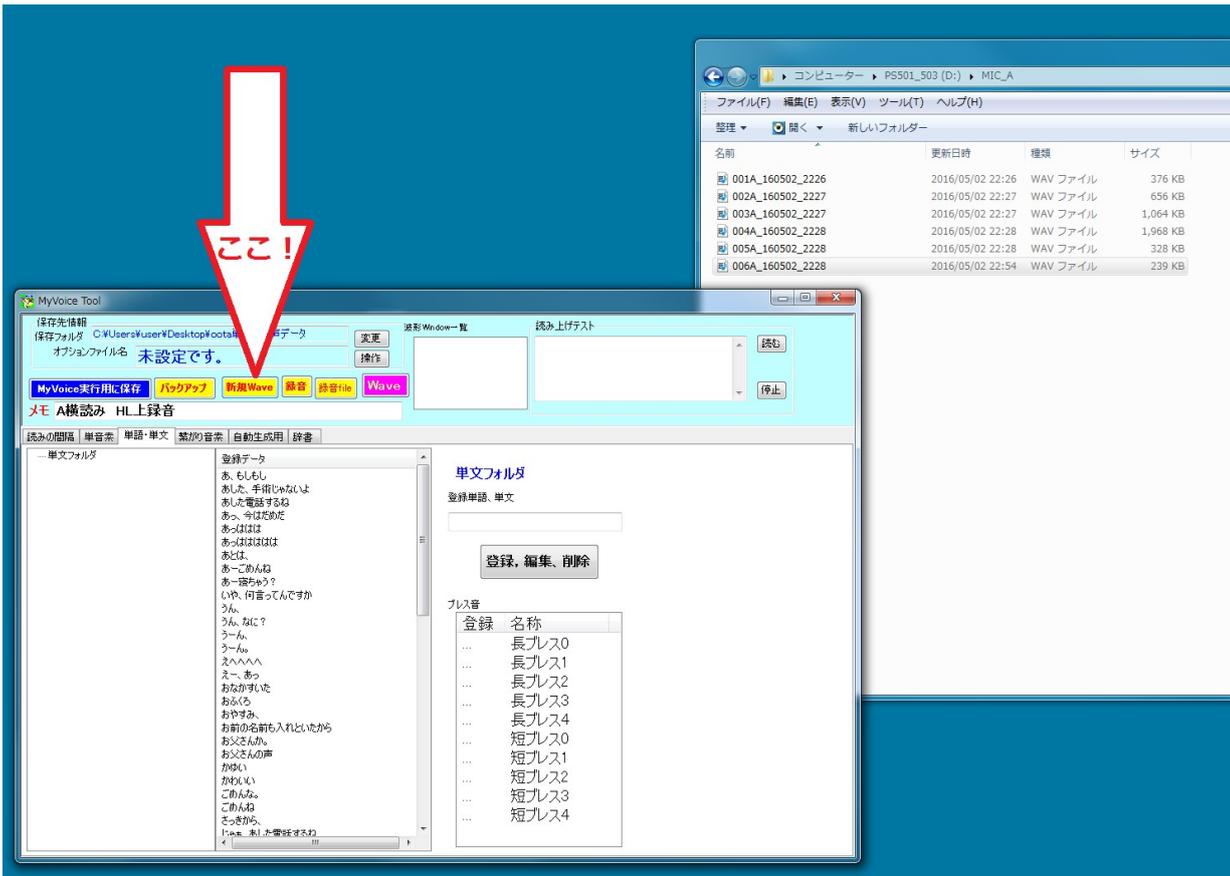
4. ここでは MIC\_A を選びます



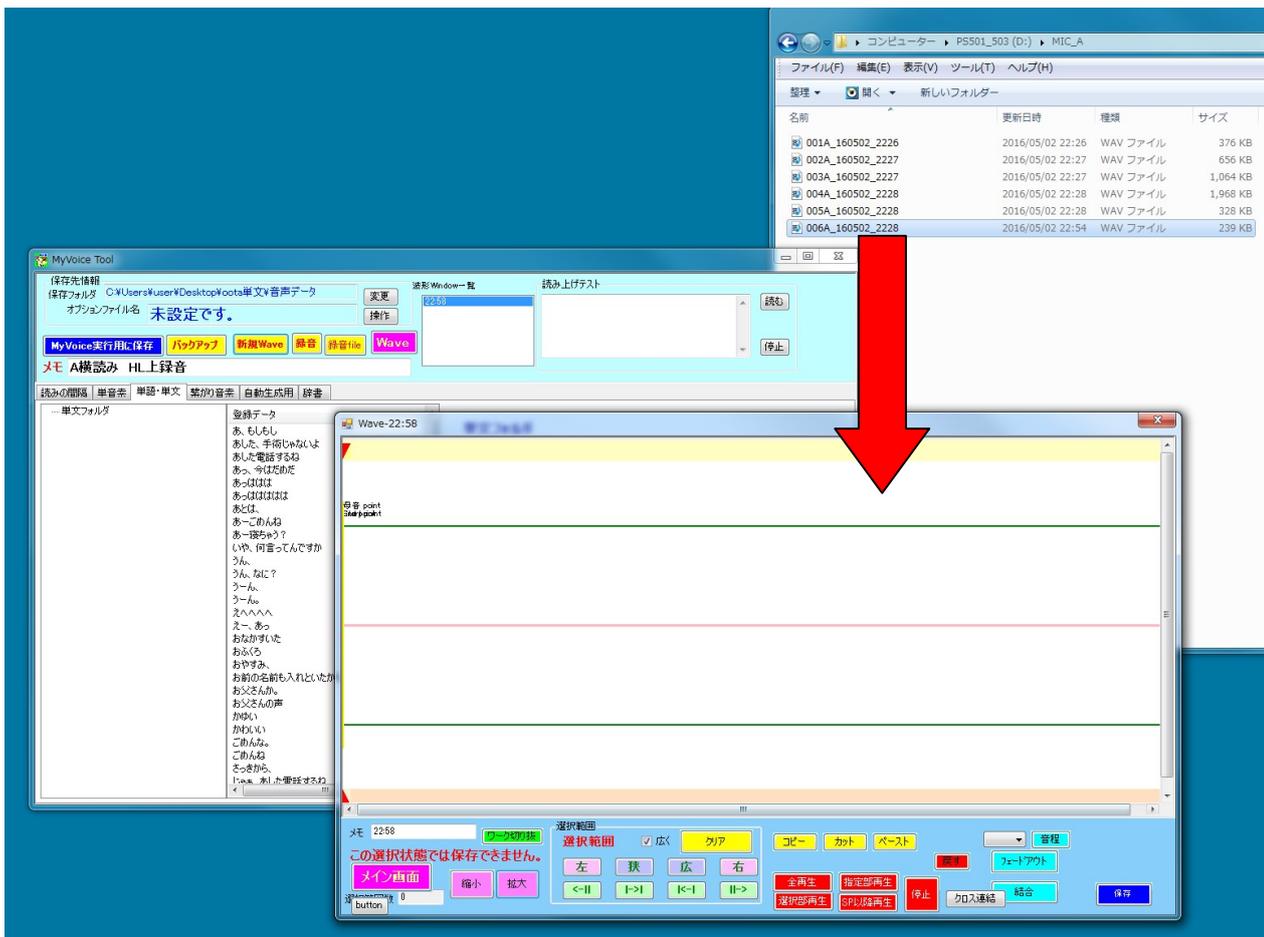
5. 「こんにちは」が入っている 006A\_160502\_2226 にマウスをあわせ



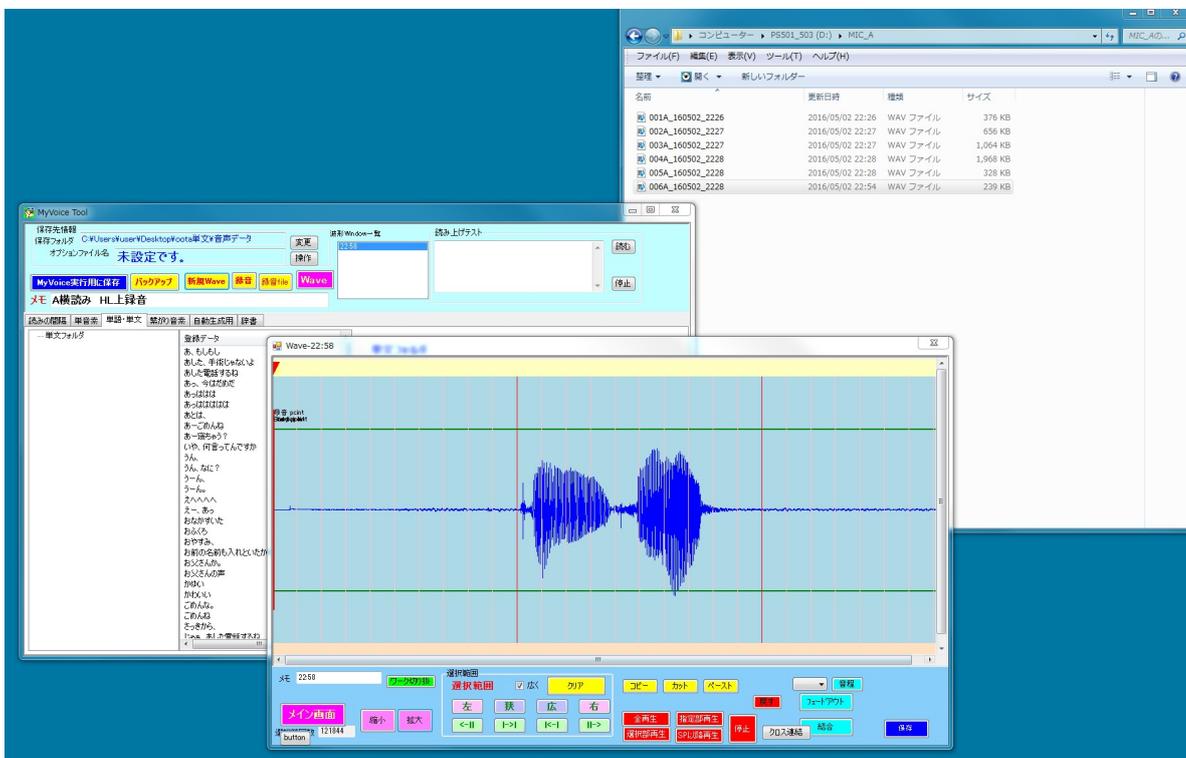
6. MyVoice の音素編集を立ち上げ、新規 Wave をクリック 7. 新規 Wave 画面



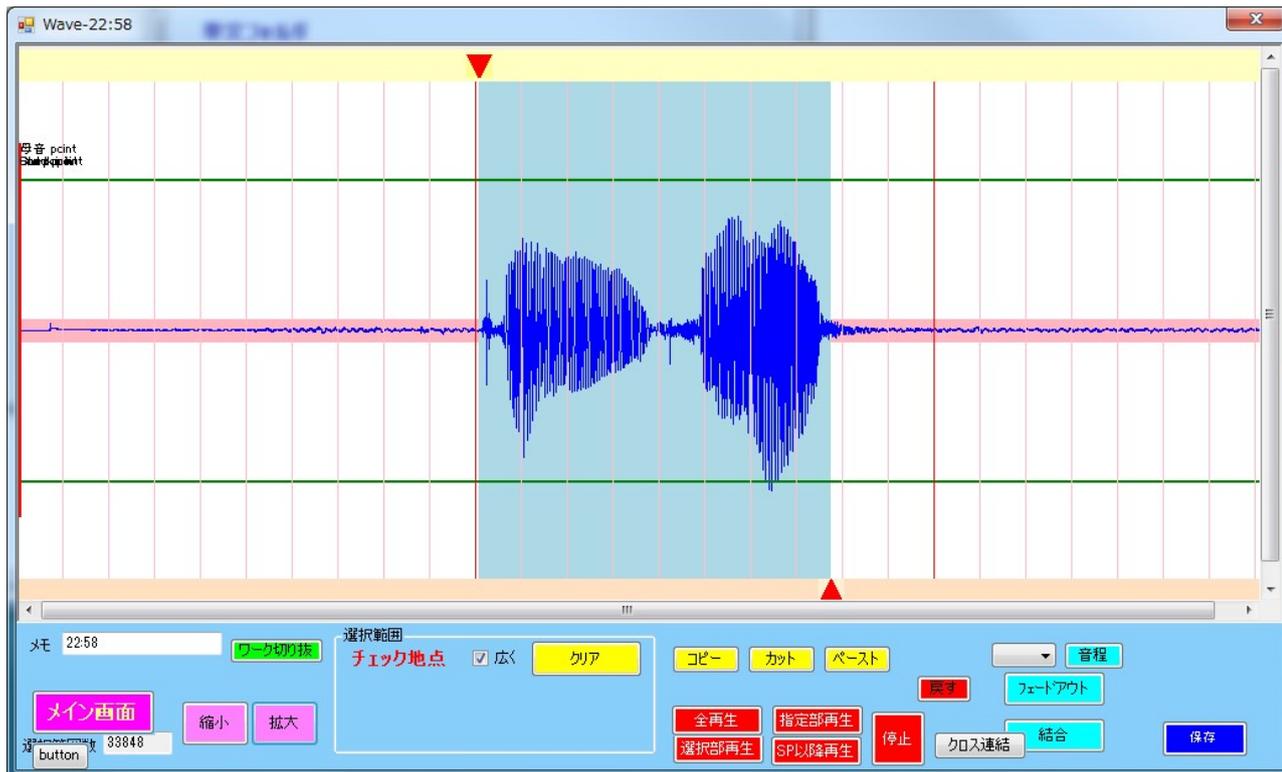
## 8. 録音ファイルを出てきた新規 Wave へドラッグ



## 9. ドラッグするとこうなります。

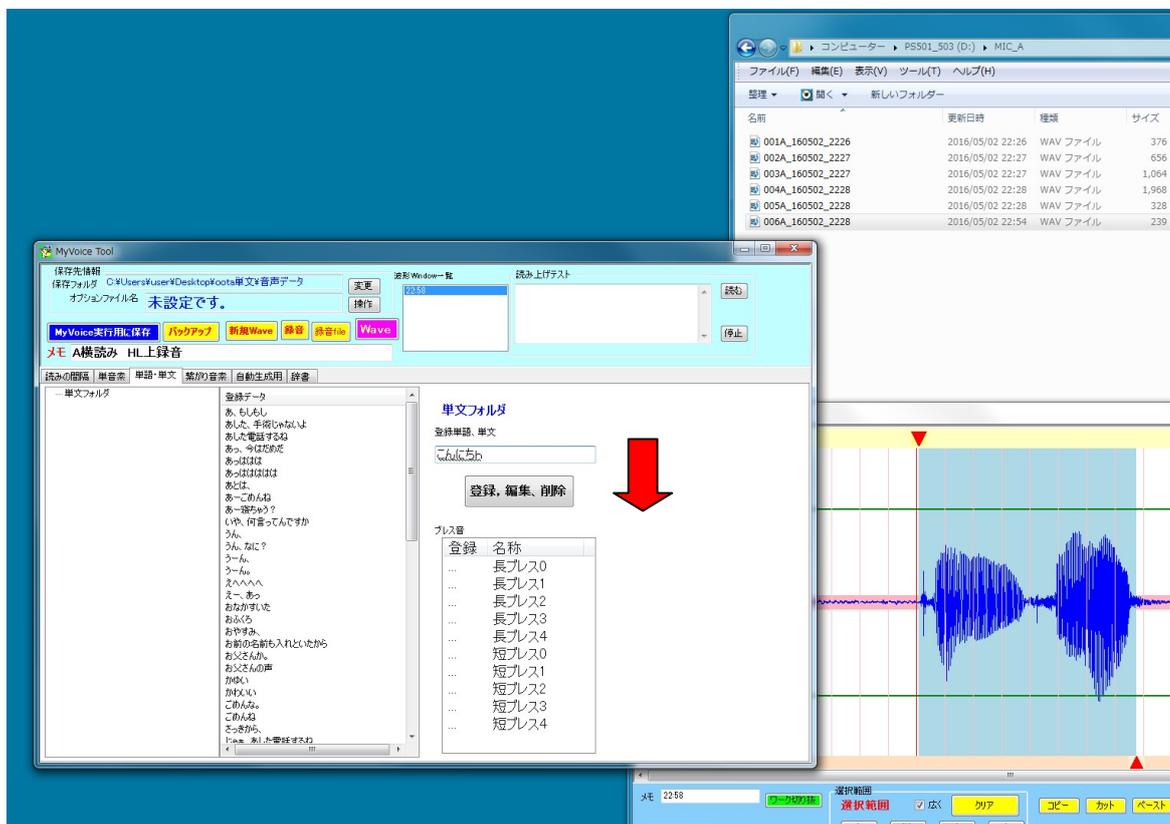


10. 波形の中央をダブルクリック（水色の選択範囲が波形の前後にこないときは中央横線のわずかに上で右クリックして「しきい値」の設定をします。その結果が、ピンク色の幅であらわされています）



**この水色の部分が登録されます。**

11. こんにちは、と入力して「登録」をクリック



12. HeartyLadder で以下のように文字を入ると



「こんにちは」 + 「あ」 + 「か」 + 「ちゃ」 + 「ん」 で再生されます（「赤ちゃん」が単語録音されていない場合）

<『 』でくくることについて>

ありがとう という音声ファイルが、単文フォルダにある（=登録されている）と、



このように「どうもありがとう」という文章を HeartyLadder に入力したとき  
実際の発音は、「どうも」が単文としてないとき

「ど」 + 「う」 + 「も」 + 「ありがとう」

と発音します。

途中から単語単位の発音ではバランスが悪いと感じるとき、「ありがとう」が使われないようにすることもできます。

それは、ありがとう に『 』をつけて、『ありがとう』で登録するのです。

The screenshot shows the HeartyLadder software interface. At the top, there are buttons for 'MyVoice実行用に保存', 'バックアップ', '新規Wave', '録音', '録音file', and 'Wave'. Below these is a 'メモ' field. The main interface has tabs for '読みの間隔', '単音素', '単語・単文', '繋がりの音素', '自動生成用', and '辞書'. The '単語・単文' tab is active. On the left, there is a tree view with '単文フォルダ' and 'テスト例文'. A red arrow points to the '単文フォルダ' with the text 'Shift 押しながら 下矢印'. The main area shows a table of registered phrases. The first row is '『ありがとう』'. A context menu is open over this row, with options: '速度登録', '読み登録', '単文表記変更', '表記変更', '『』でくる', and '『』をはずす'. The '単文表記変更' option is selected. To the right, there is a '単文フォルダ' section with a text input field containing '『ありがとう』', a '登録単語、単文' button, and a '選択中波形を聴く' button. Below this is a 'リスト設定' button. At the bottom right, there is a 'プラス音' section with a '登録' button and a list of dots. A red text box on the right says: 「『』でくる」と、ありがとう があっても 『』でくらないと 単文は使われません

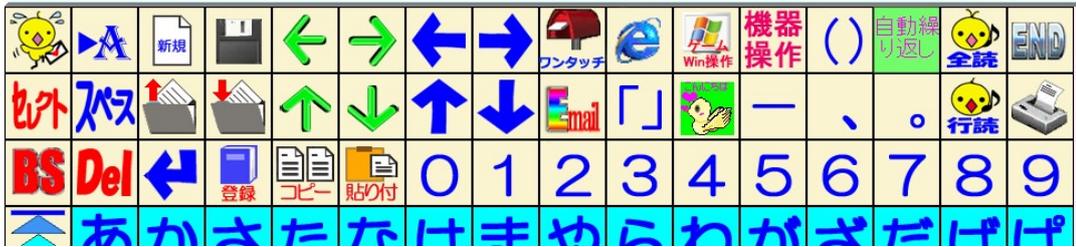
こうすると、

「ど」 + 「う」 + 「も」 + 「あ」 + 「り」 + 「が」 + 「と」 + 「お」

と発音します。

もし、あえて発音を「ど」 + 「う」 + 「も」 + 「ありがとう」にしたいときは、

# どうも『ありがとう』



と文字を入力します。

## <上級者向け説明>

「ありがとう」の速度と読みの調整（マイボイスの読み上げに合うように）

速度の下を「右クリック」

登録データ	速度	読み
ありがとう		

速度登録  
読み登録

速度登録をクリック

SetSpeedFm

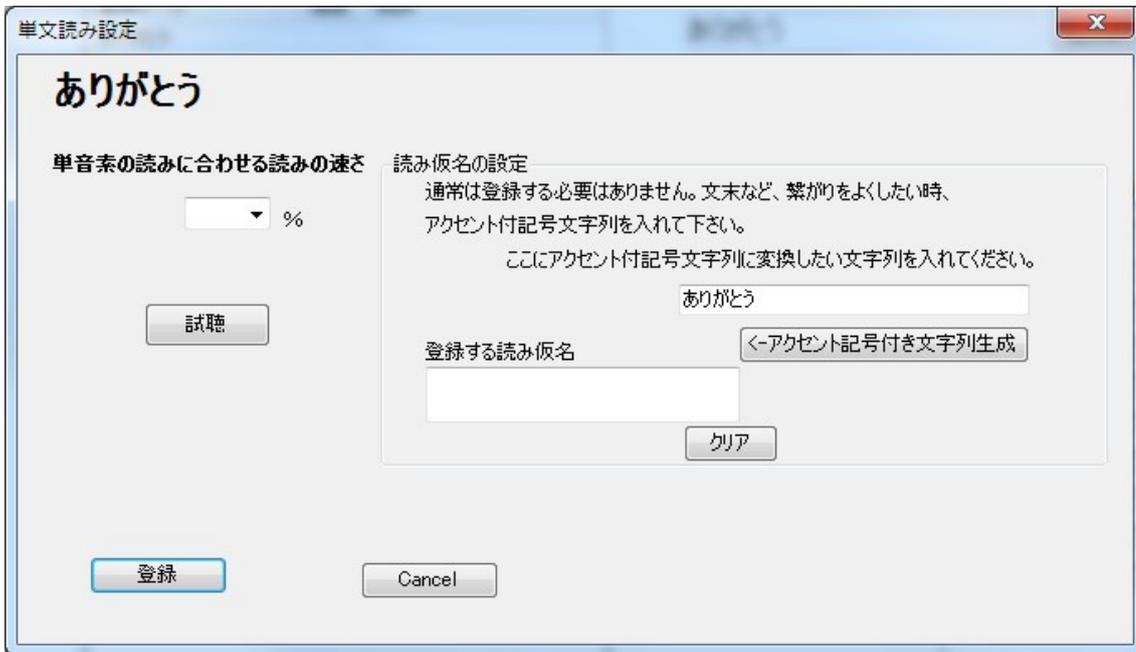
単音素の読みに合わせる読みの速さ

150 %

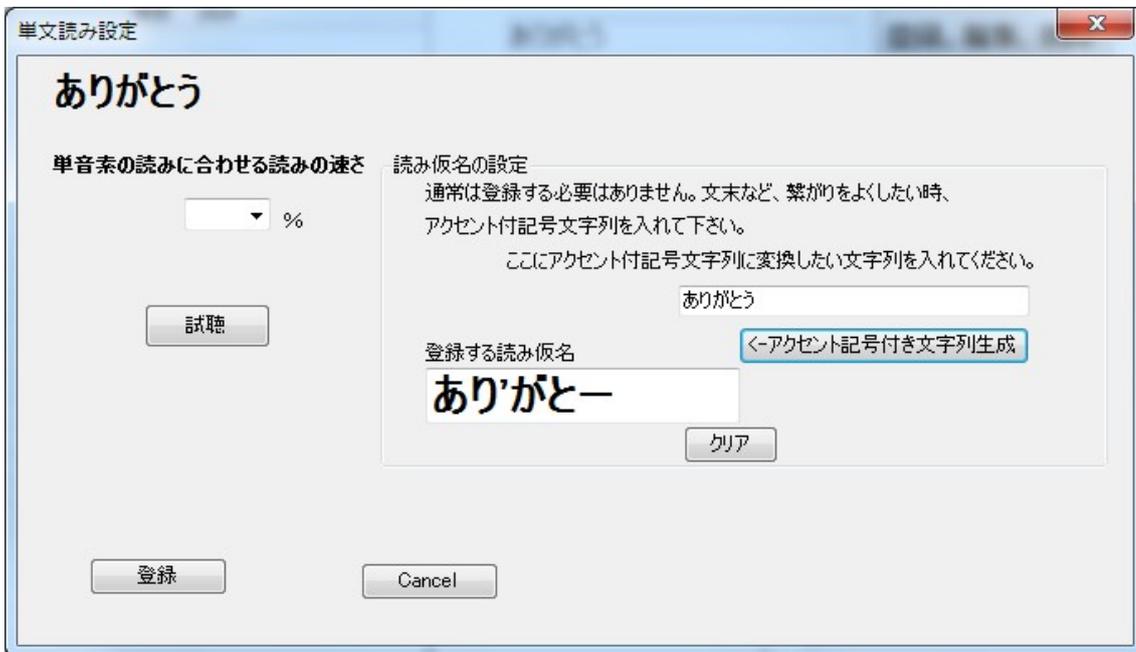
OK Cancel

ここで 150 を入れる（1.5 倍ゆっくり）

「読み登録」をクリックすると



が出てくる。そこで「アクセント記号付き文字列生成クリック」すると



ここで、必要に応じて「登録する読み仮名」を手直しする。

「ありがとう」がゆっくり読み（150%）で、「あり'がとー」で登録されました。

単語・単文 **繋がりの音素** 自動生成用 辞書

Shift+ダブルクリックで読み仮名自動セット、Ctrl+ダブルクリックでクリア  
ALTを押しながらダブルクリックで速度を「150」に設定

登録データ	速度	読み
ありがとう	150	あり'がとー

**単文フォルダ**

登録単語、単文

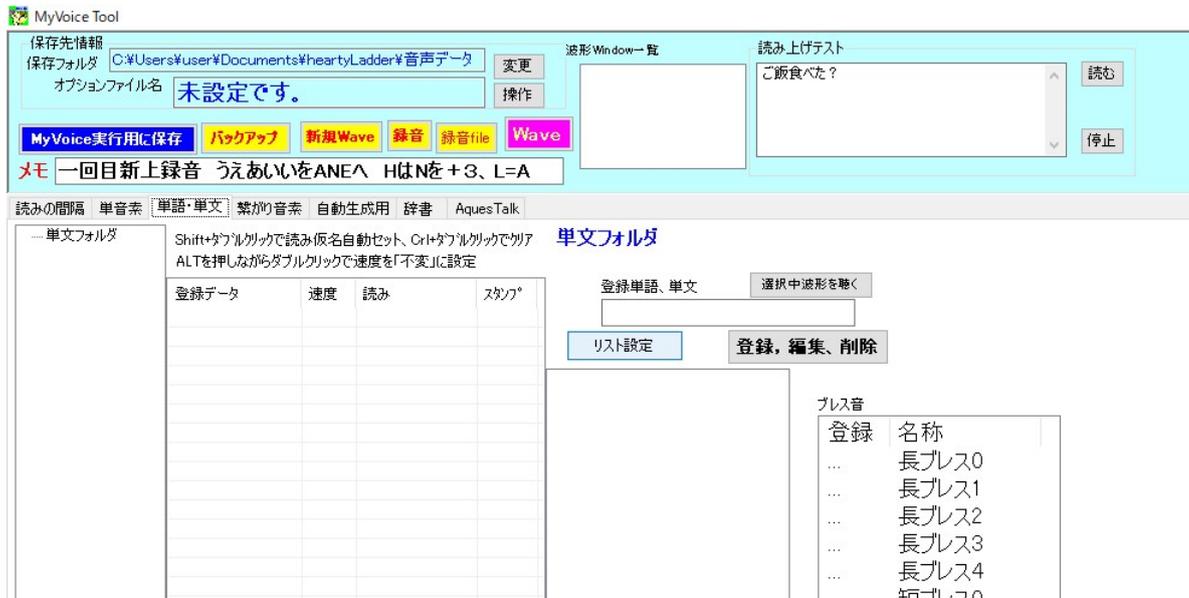
ありがとう

リスト設定

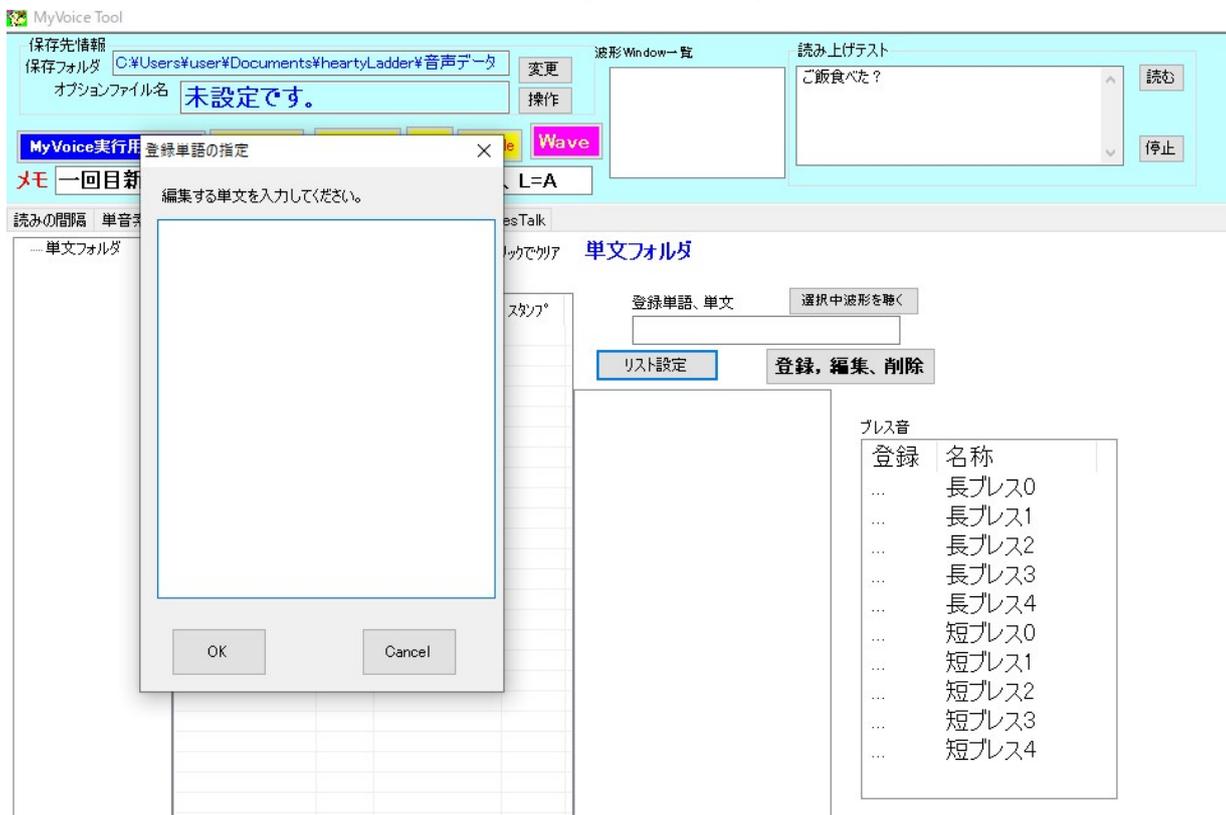
## 簡単に単文を登録する方法

単文は音声ファイルに、収録されている内容のファイル名をつける必要があります。

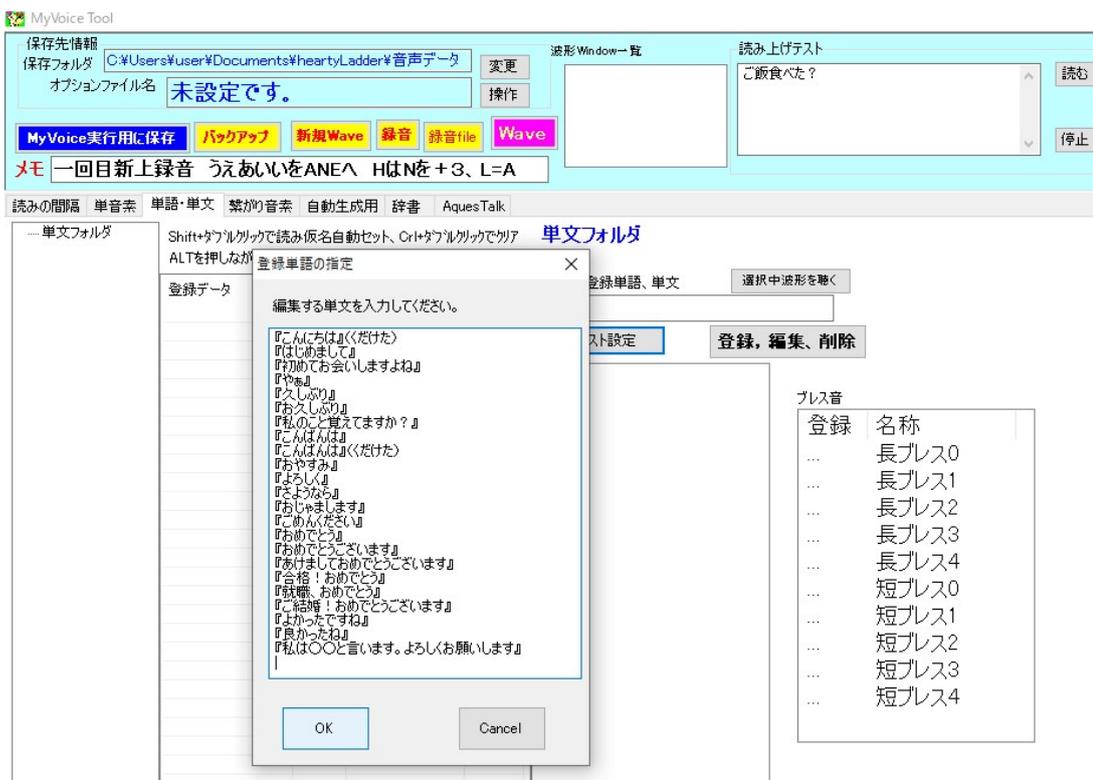
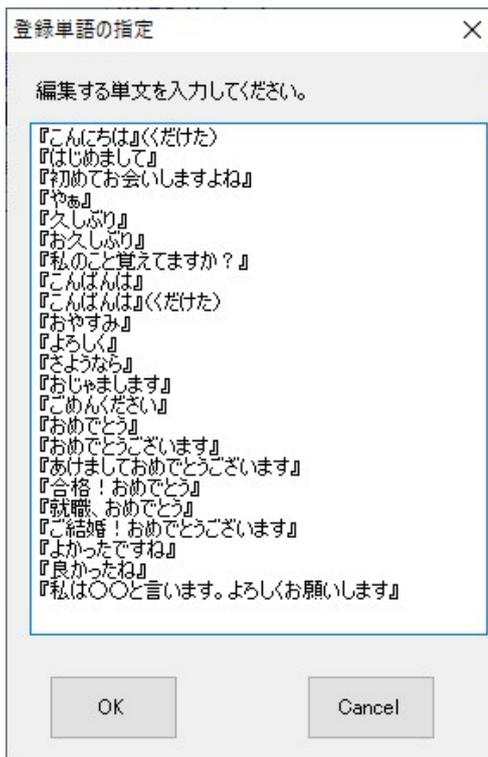
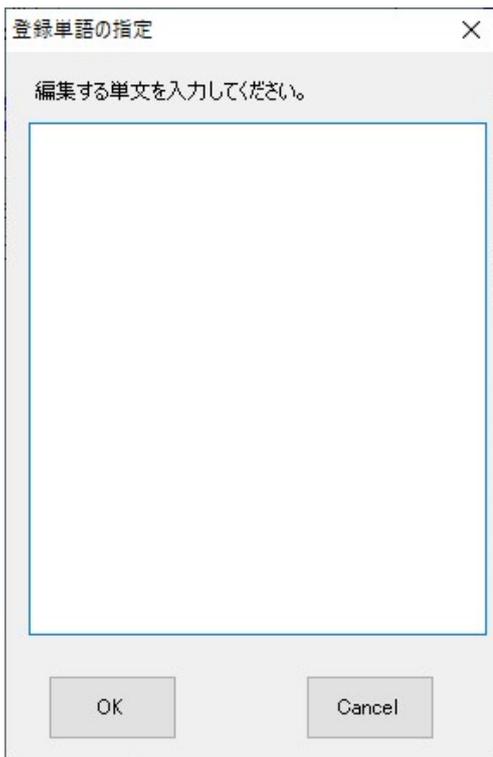
そのために、11で「こんにちは」と吹き込んだファイルに対しては「こんにちは」と手入力しますが、あらかじめファイル名一覧があれば、一覧表を取り込んで、ファイル名に該当する音声データ範囲を表示させた状態で該当ファイル名をクリックするだけで、その音声データファイルにそのファイル名が付き保存されます。



ここで「Shift キーを押しながら「リスト設定」をクリック」します。



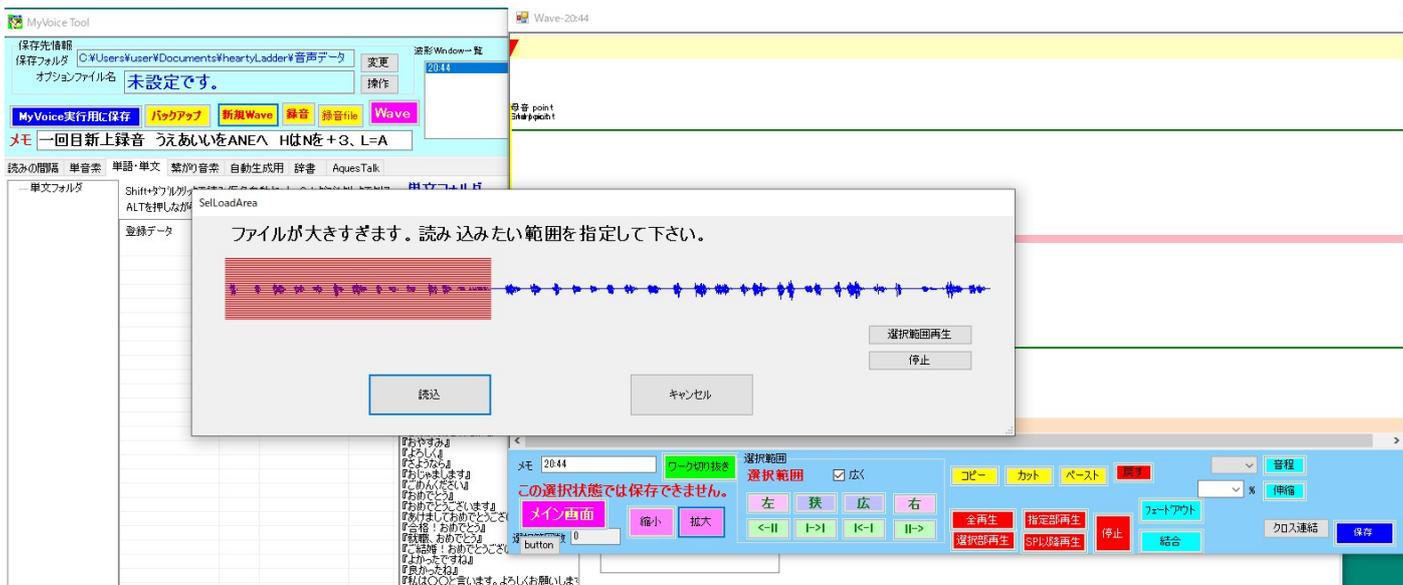
ここでできる窓に、リストをコピーペーストします。



ここで「OK」を押すとこのようになります。

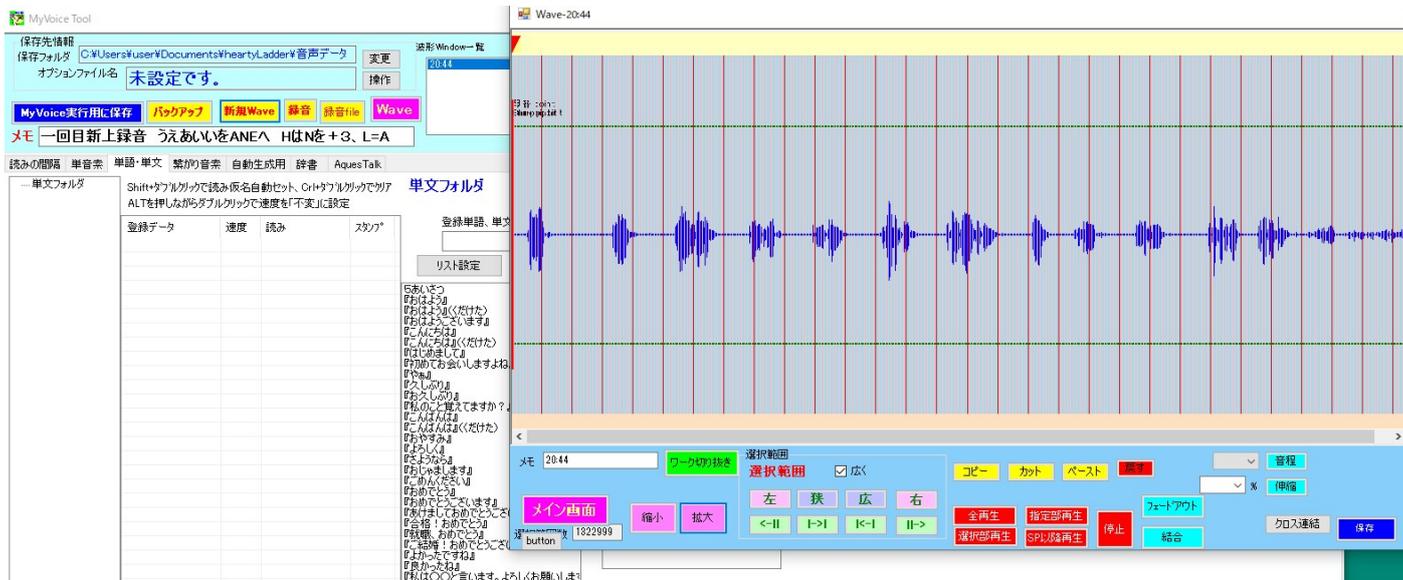


ここに「音声ファイル」をドラッグします。



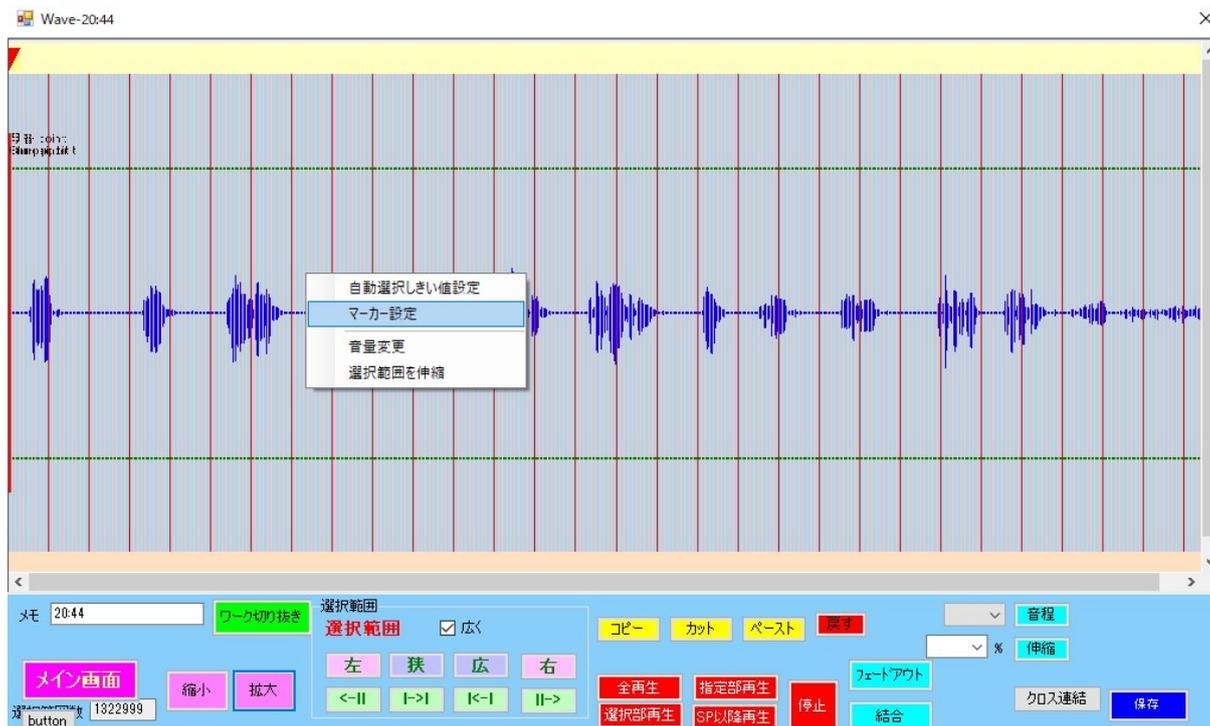
ファイルの録音時間が長すぎると上記のようになります。

そこで読み込みをクリックするとこのようになります（ピンクの部分を読み込まれます）。

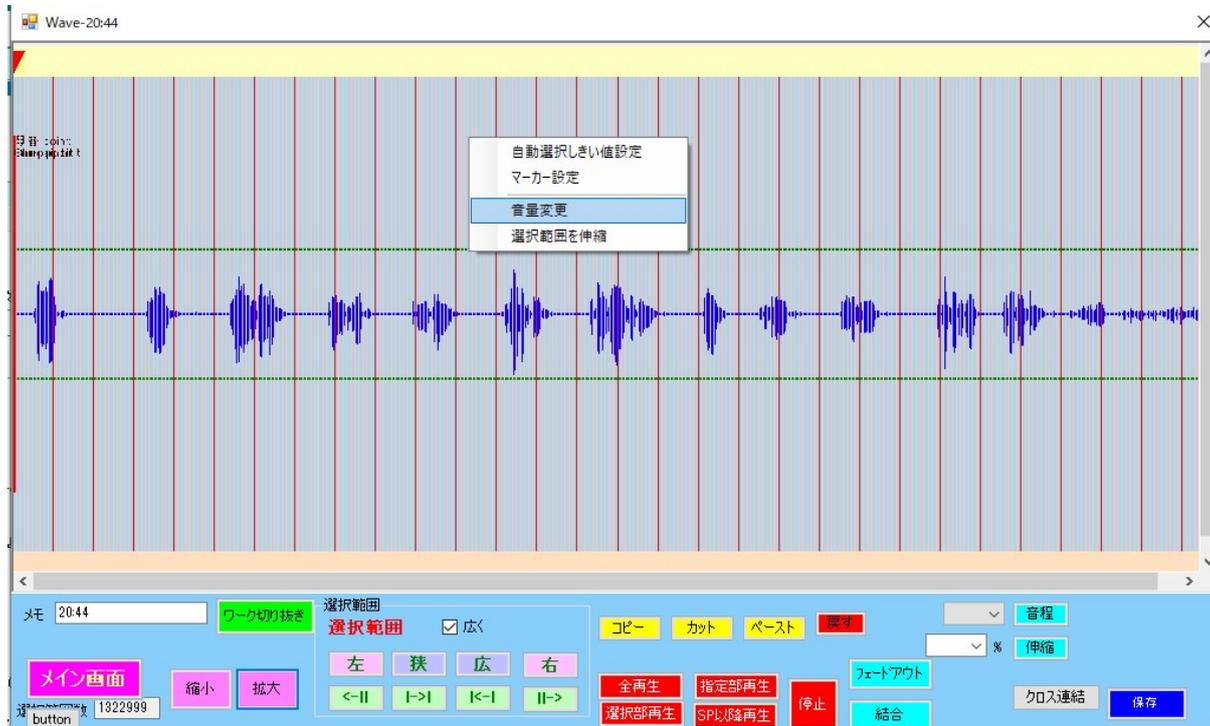


波形が縦に小さいようなので大きくします。

まず1の単位をマーカー設定します。(画面上で右クリック)



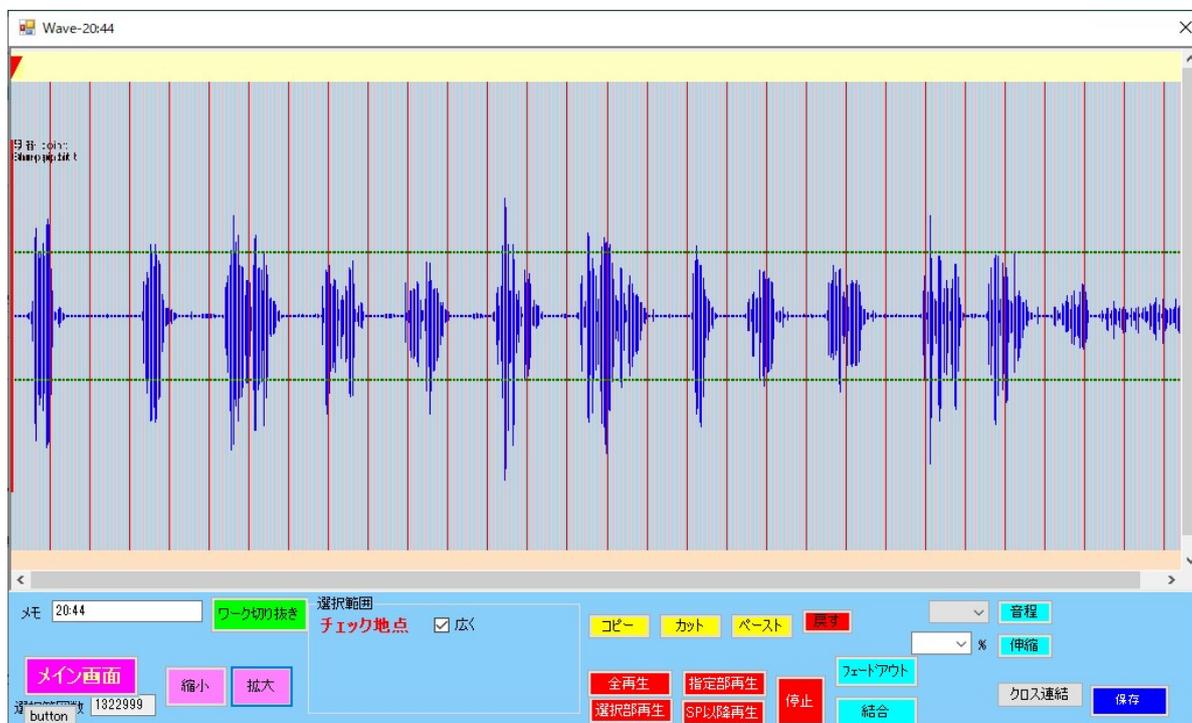
マーカーの位置を波形の近くにします。



音量変更を押すとこのように聞いてきます。

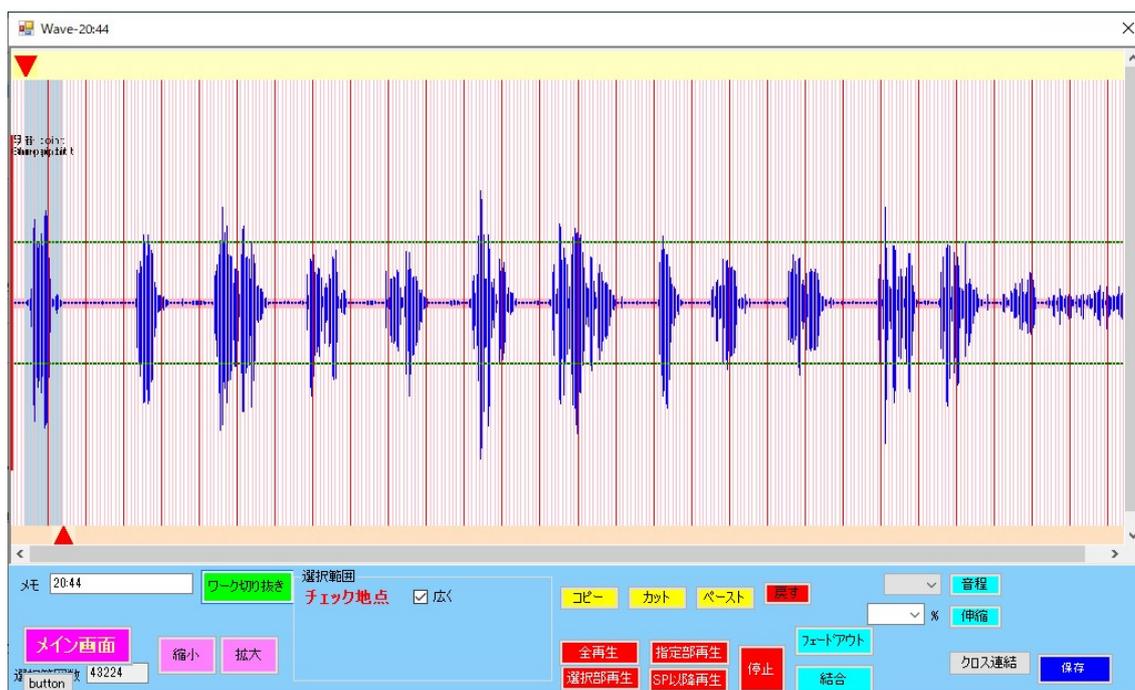


これで「はい」を選ぶと

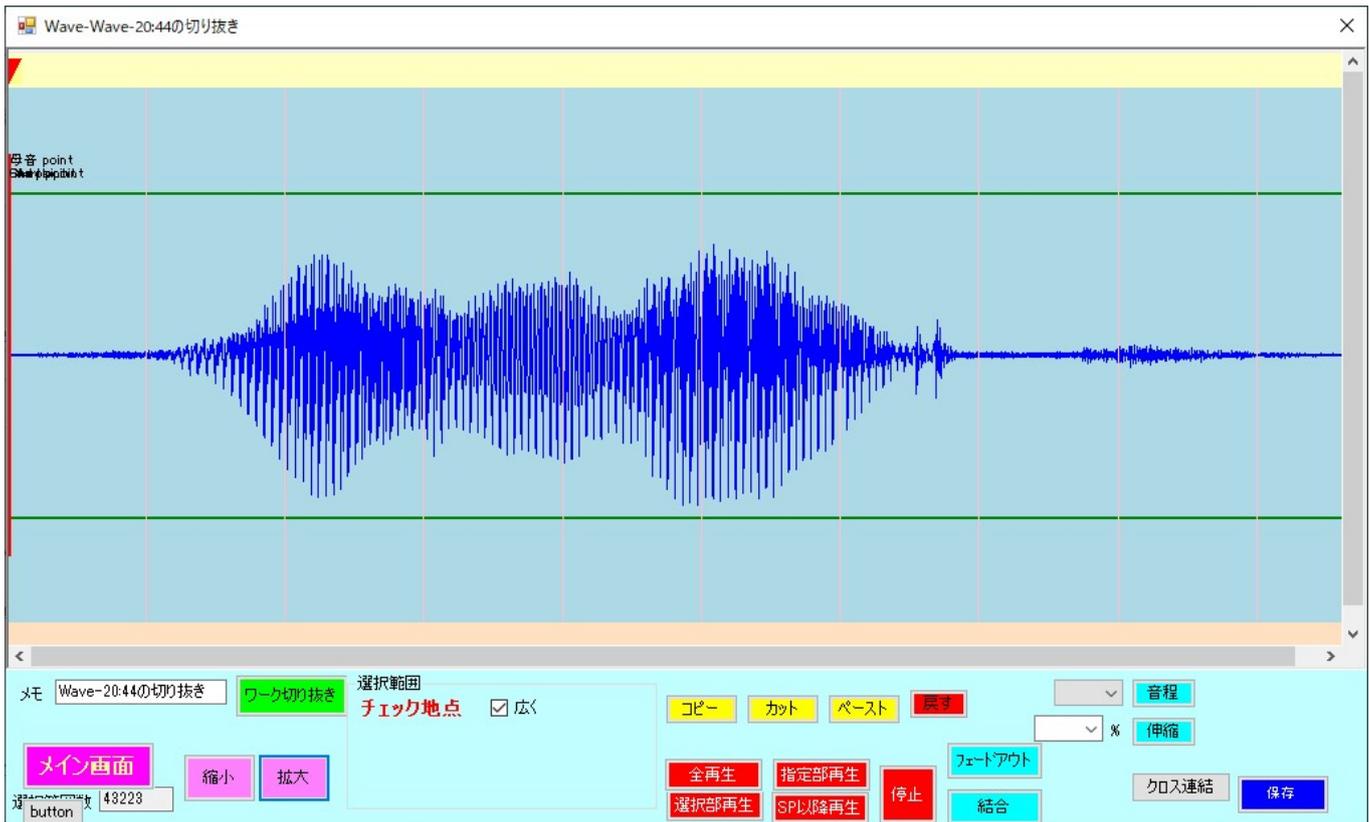


のように音量が変更されます。

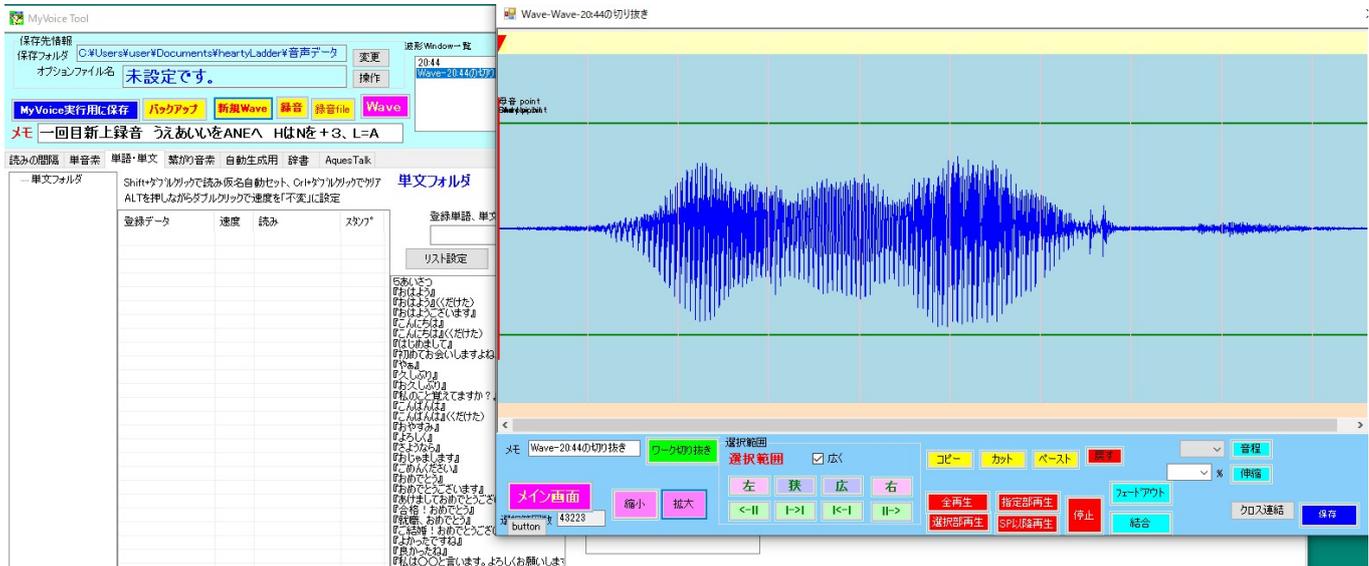
一番左が「おはよう」なので、波形上でクリックします。



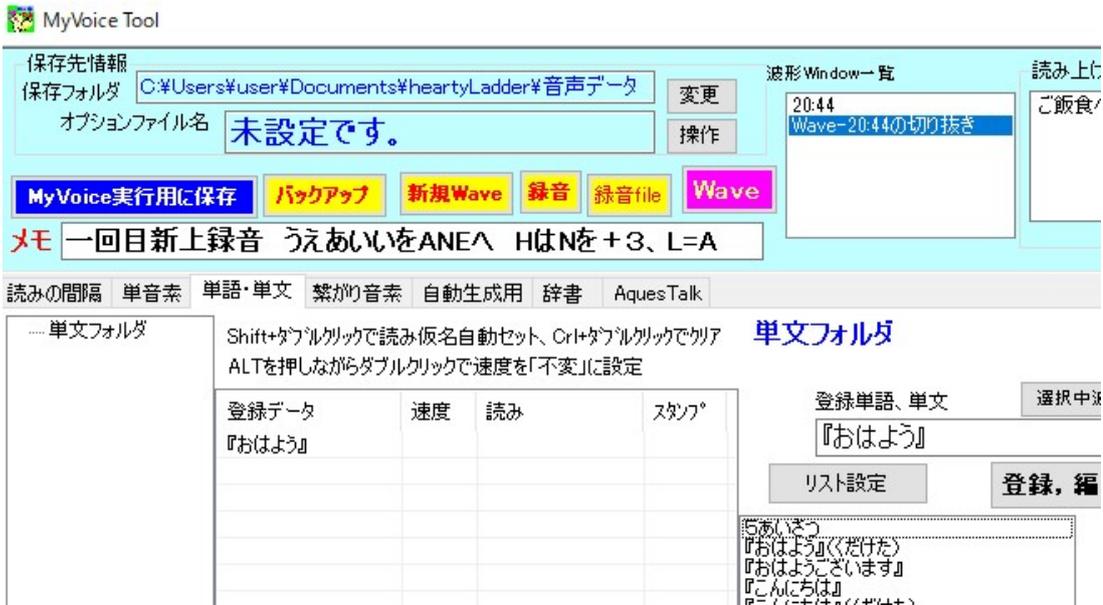
「おはよう」の部分が小さくて見にくいのでここで「ワーク切り抜き」をクリックします。



「おはよう」全体が入っているのが確認できました。  
(入ってなければここで調整します)



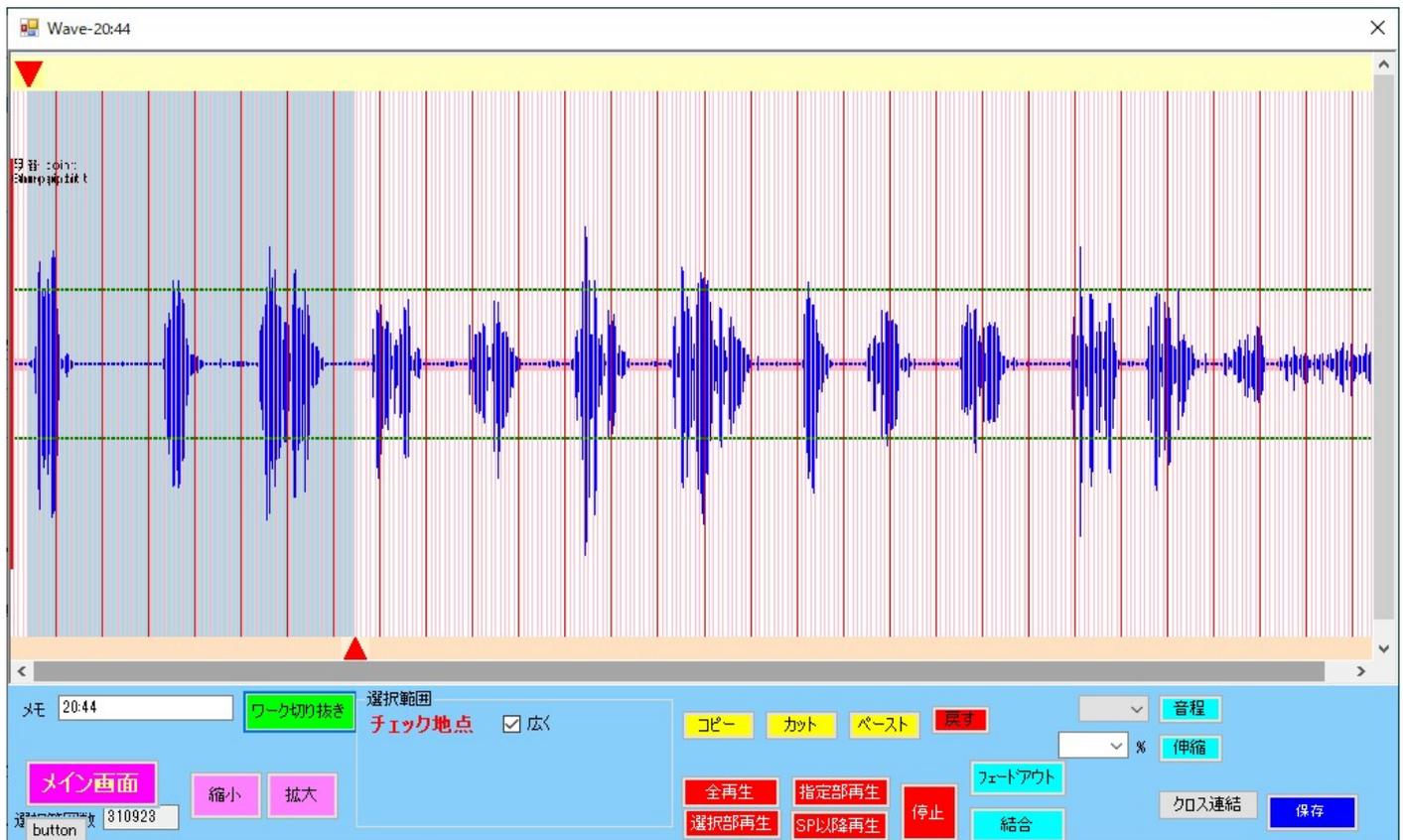
先ほどのリストの『おはよう』をクリックします。



『おはよう』が登録できました。

「ワーク切り抜き」についてです。

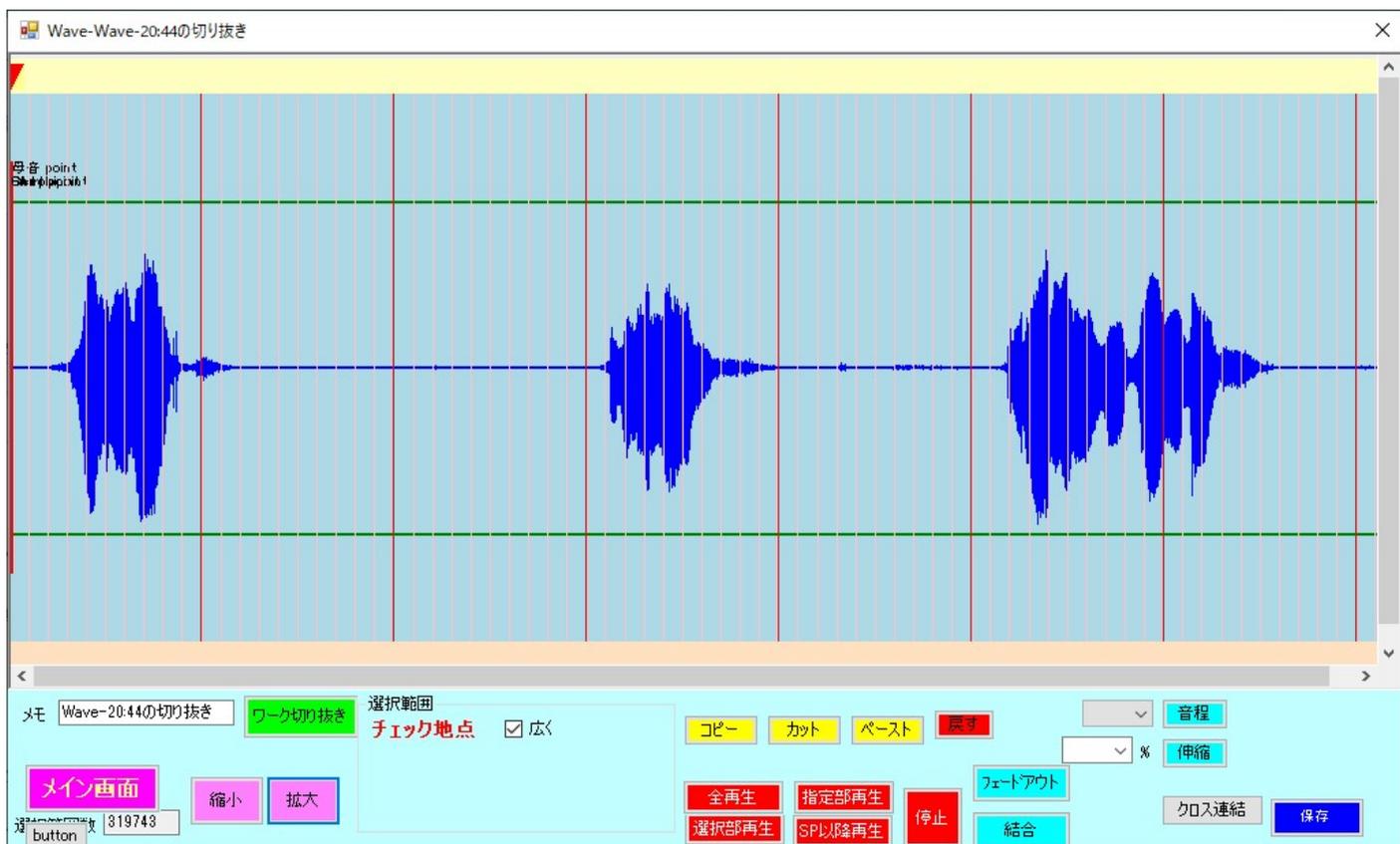
次に『おはよう (くだけた)』の登録を例に、波形が切れいている場合の説明をします。



波形の特にみたい部分を指定します。

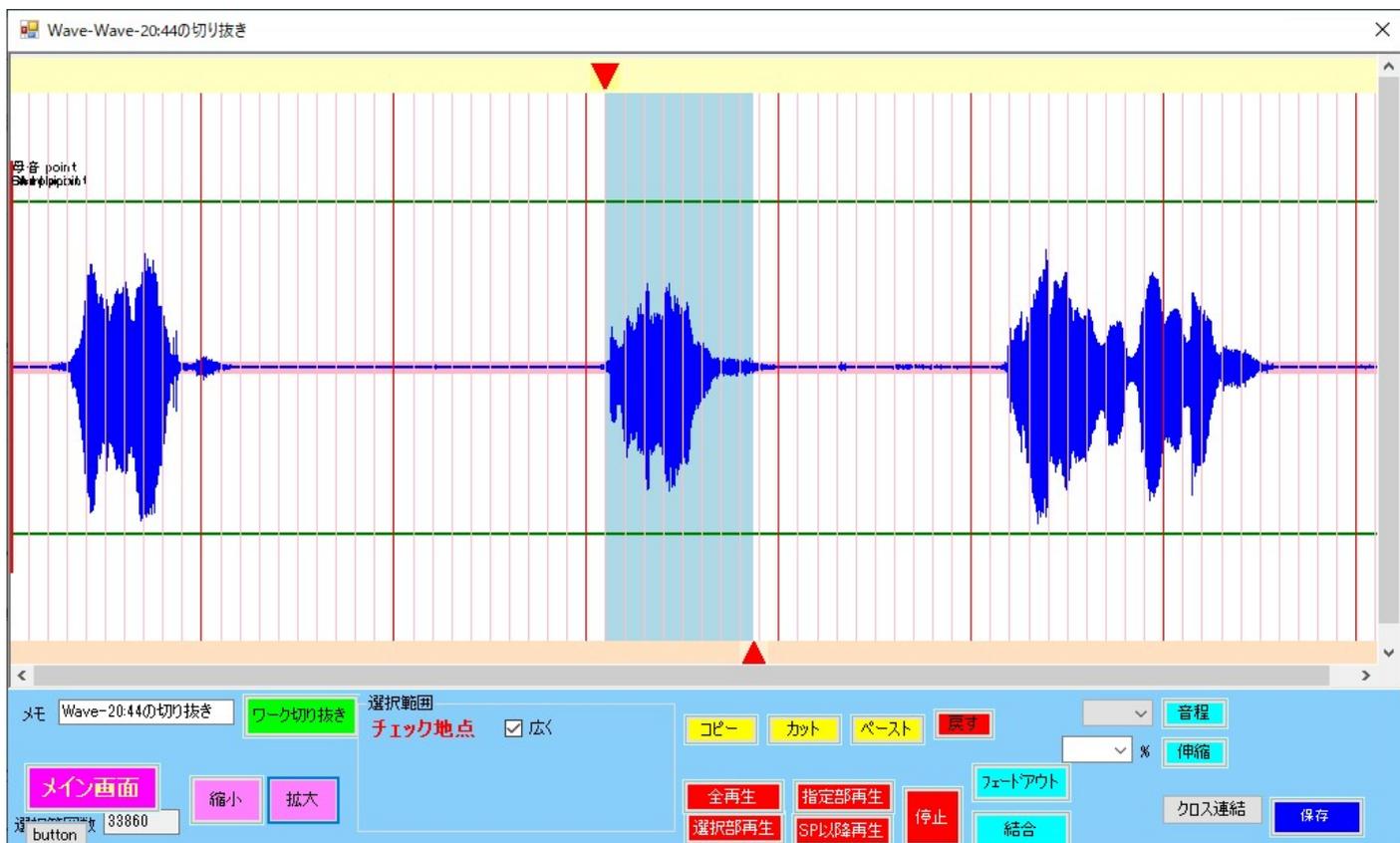
ここでワーク切り抜きを押すと

このようになります。



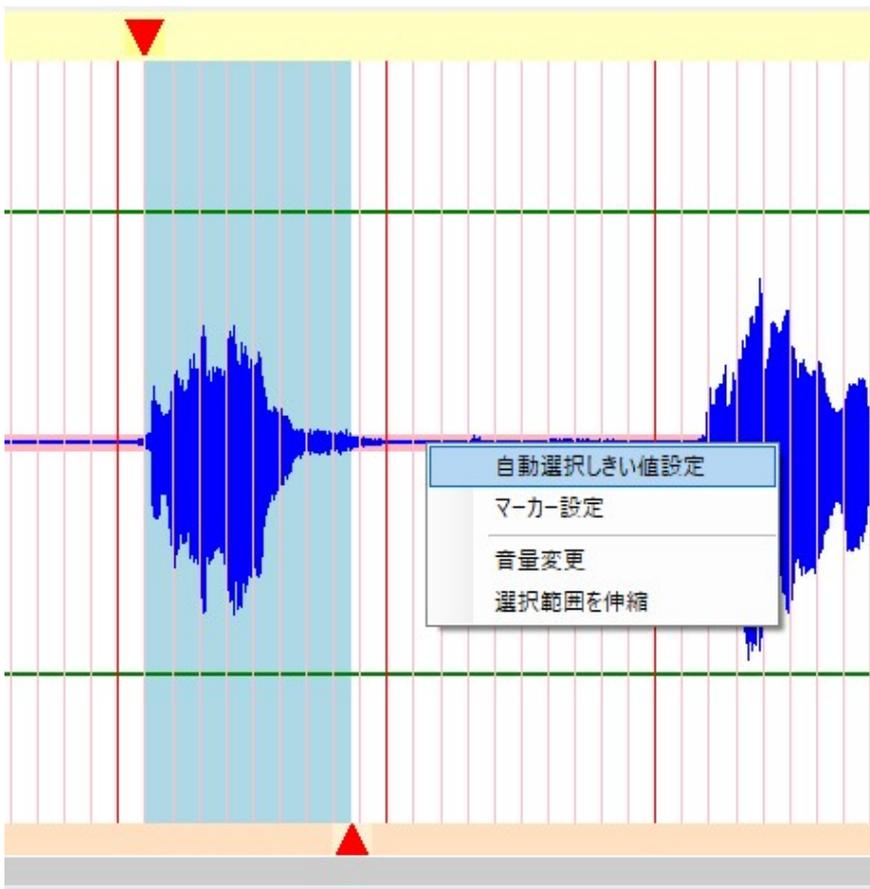
これは「おはよう」「おはよう（くださった）」「おはようございます」の3つです。

真ん中の「おはよう（くださった）」をクリックします。

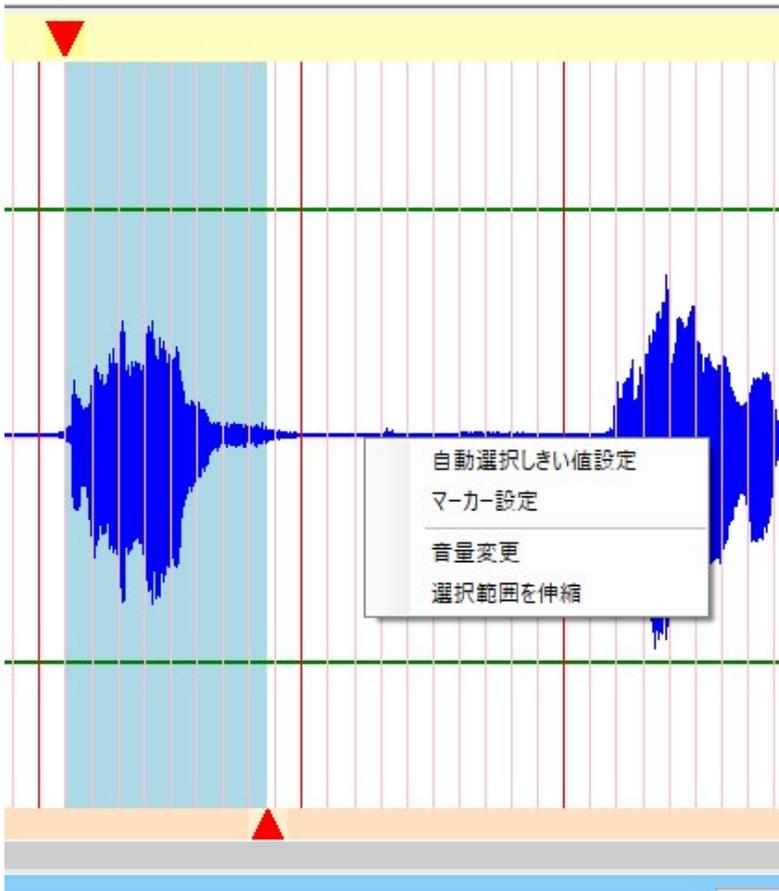




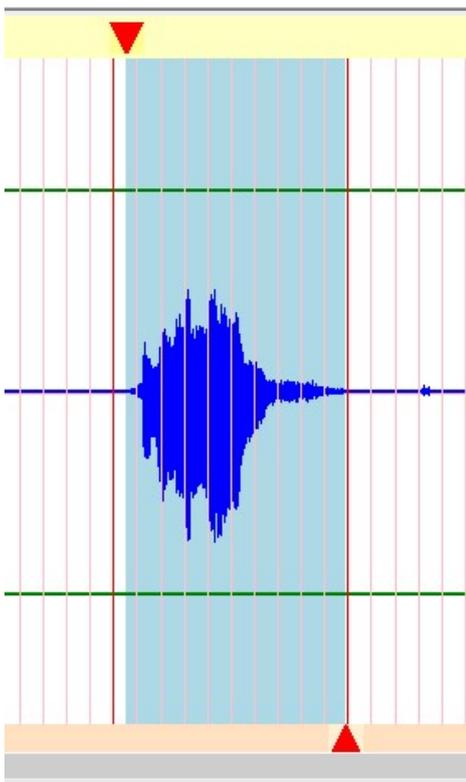
右端が波形の途中までしか選択されなかったのが確認できます。  
そこで画面のピンクの線上で右クリックします。



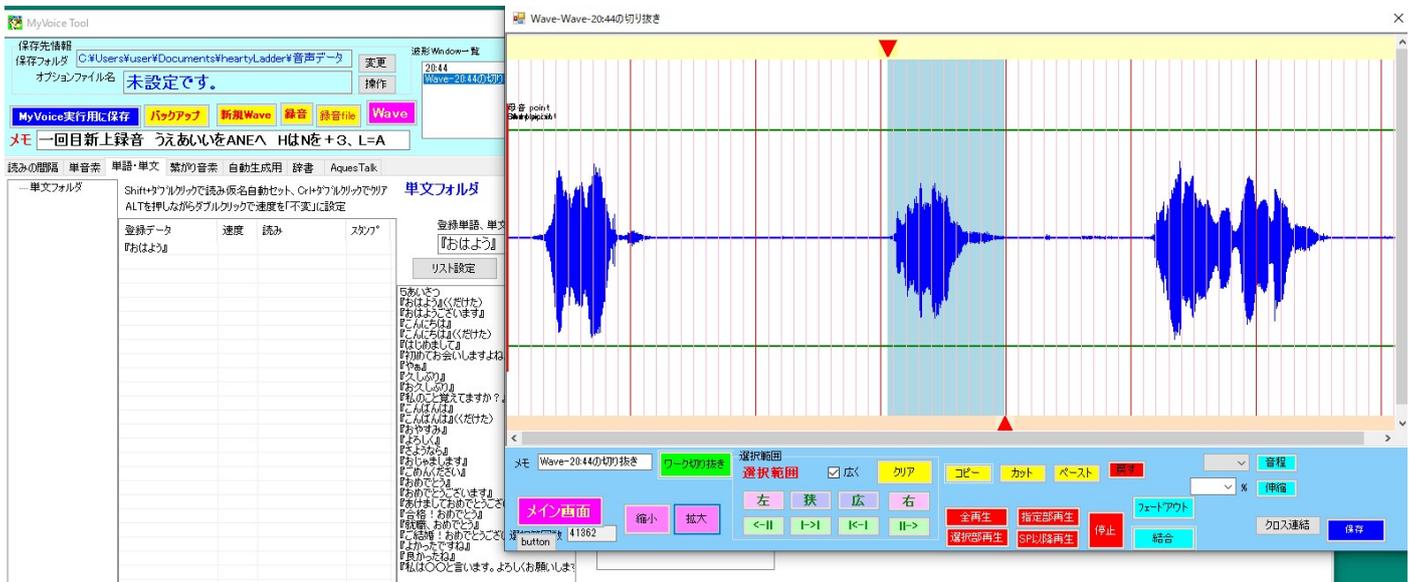
ここで「自動選択しきい値設定」を選びます。



ピンクの線をさらに細くする位置でクリックします。  
 (ピンクの線の幅で波形が切り取られます)



今度は波形全体が選択されました。



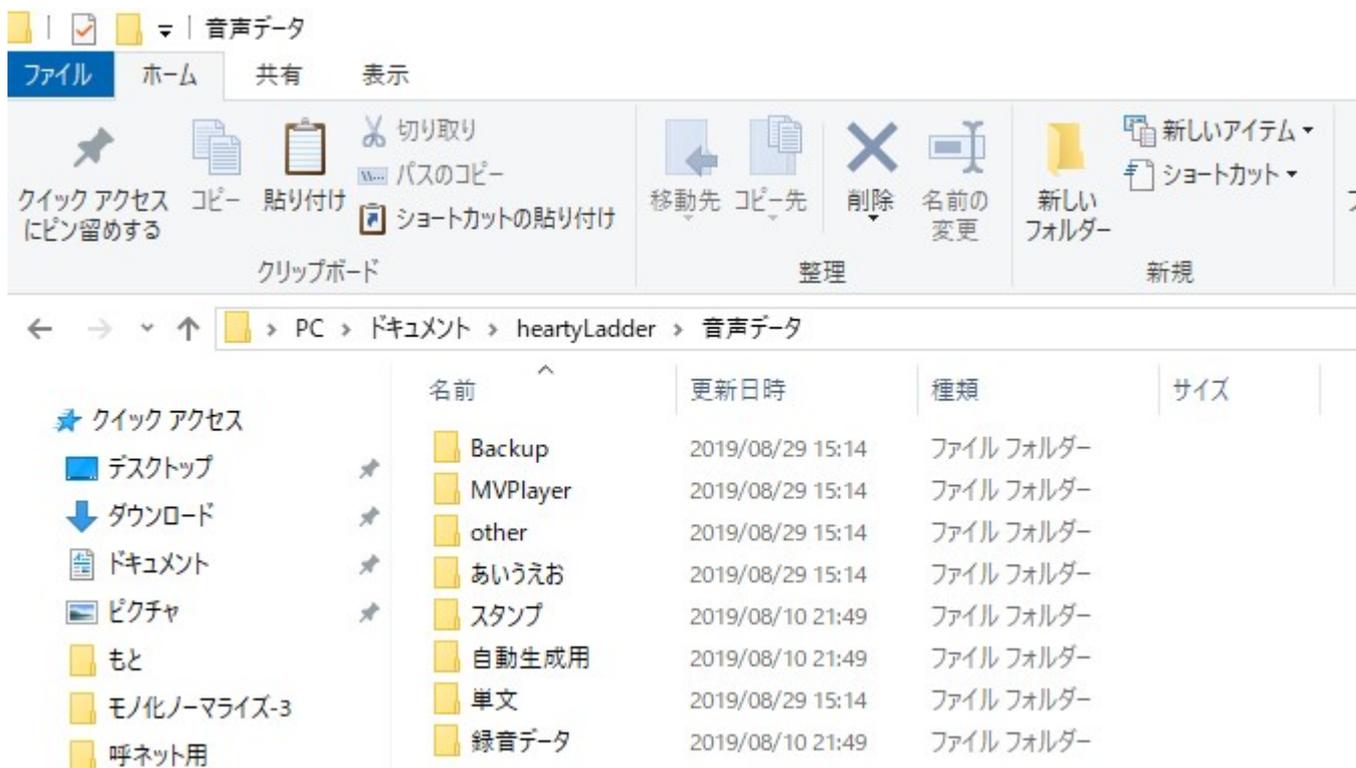
この状態で『おはよう（くだけた）』をクリックします。



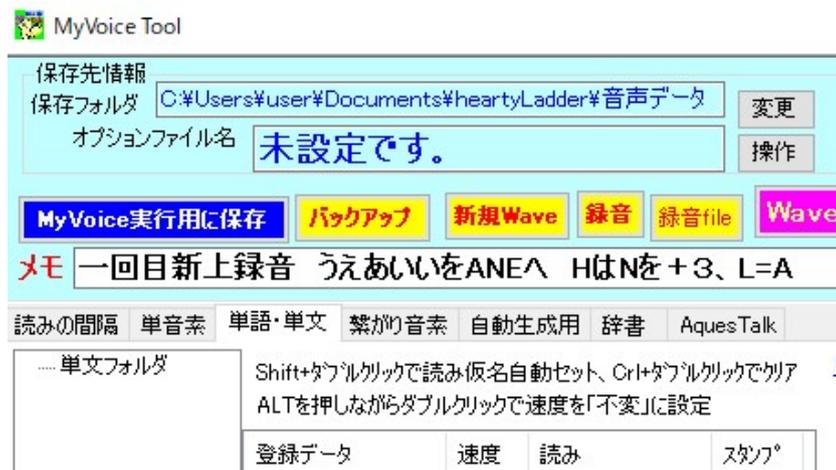
これで『おはよう（くだけた）』が登録できました。

## 登録した単語を単文フォルダのなかでさらにフォルダ管理（フォルダを追加）する方法

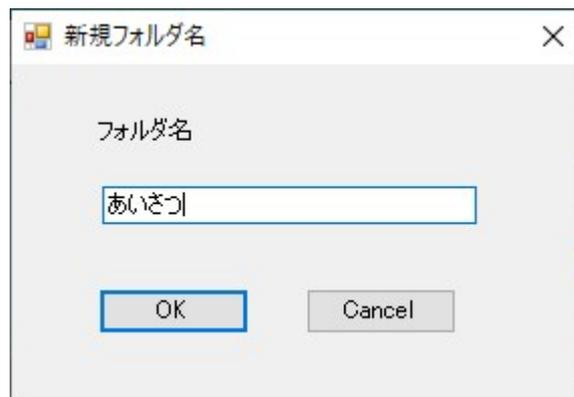
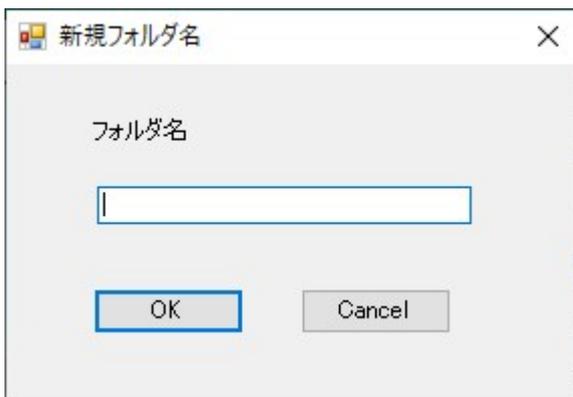
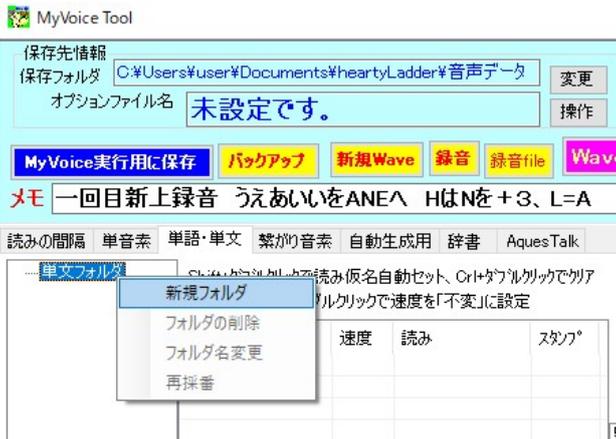
今はマイドキュメントの heartyLadder フォルダはこのようになっています。



これをマイボイスの音素編集で表すようになります。



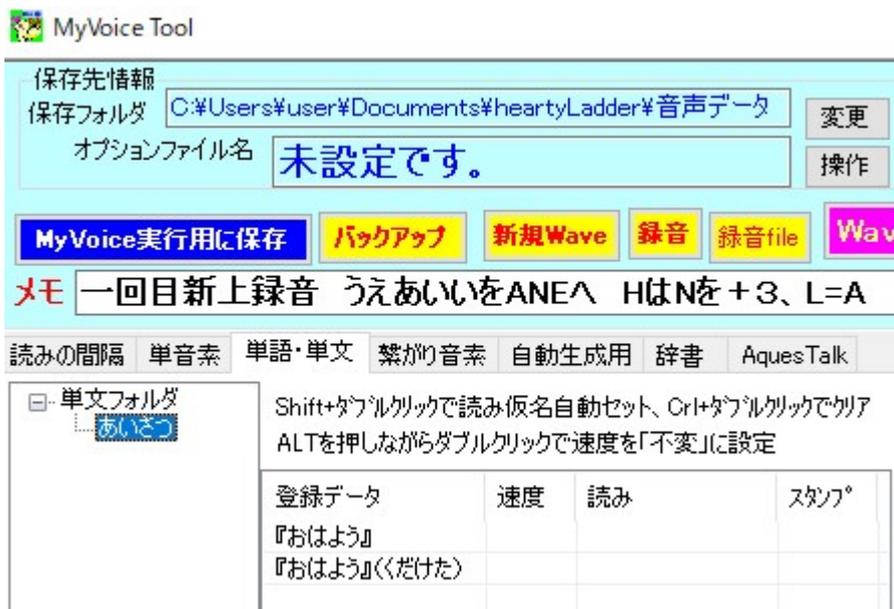
「単文フォルダ」の上で右クリックして新規フォルダを選択します。



ここでは例で「あいさつ」を入力します。



『おはよう』『おはよう』(くだけた)を、こうしてできた「あいさつ」フォルダにドラッグすることでフォルダに収まります。



この状態は、

単文フォルダのなかに「あいさつ」フォルダができて、その中に『おはよう』『おはよう』(くだけた)が保存されていることを示しています。

HeartyLadder- 無題

HeartyReader  
by AquesTalk2

\*挨拶 \*人 \*文頭

\*文頭

		新規		←	→	←	→	フタツチ		Win操作	機器操作	( )	自動繰り返す	全読	END
外	入			↑	↓	↑	↓	mail	「」		—	、	。		行読
BS	Del	←				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
文頭	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	が	ざ	だ	ば	ぱ
文末	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	ぎ	じ	ち	び	び
前画面	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	く	ず	づ	ぶ	ぶ
次画面	え	け	せ	て	ね	へ	め	や	れ	よ	げ	ぜ	で	べ	ぺ
http表示	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゆ	ろ	っ	こ	そ	と	ほ	ぽ

ここで「こんにちは」をクリック

または

HeartyLadder 9

HeartyReader  
by AquesTalk2

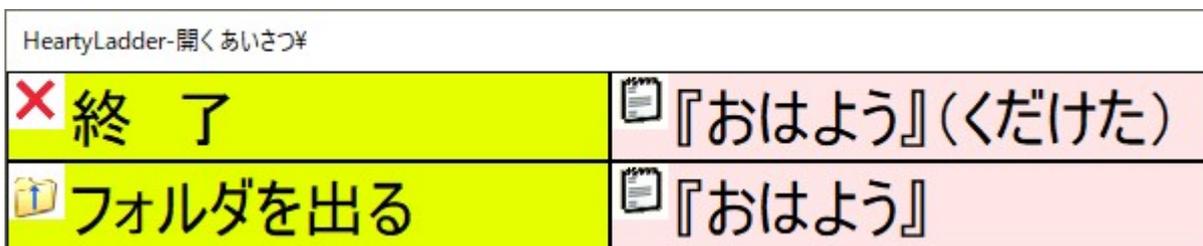
\*挨拶 \*人 \*文頭

\*文頭

		新規		←	→	←	→	フタツチ		Win操作	機器操作	( )	自動繰り返す	全読	END
外	入			↑	↓	↑	↓	mail	「」		—	、	。		行読
BS	Del	←				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
文頭	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	が	ざ	だ	ば	ぱ
文末	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	ぎ	じ	ち	び	び
前画面	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	く	ず	づ	ぶ	ぶ
次画面	え	け	せ	て	ね	へ	め	や	れ	よ	げ	ぜ	で	べ	ぺ
http表示	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゆ	ろ	っ	こ	そ	と	ほ	ぽ



こうしてフォルダが示されて単文が選べます。



ここで、『おはよう』などをクリックすると、文字として選べ、「行読」でマイボイスとして再生されます。もし、環境設定で「入力された文字を読む」に☑が入っていると、選んだ瞬間に読み上げます。